

ふくい街角景気速報

(令和8年5月分)

調査期間 令和8年5月19日～26日 (回答率：90%)

概況

景気の現状判断DIは41.1となり、前月と比べ0.3ポイント低下した。

景気の先行き判断DIは38.3となり、前月と比べ3.3ポイント上昇した。

■景気の現状判断DI 41.1 (前月比 ▲0.3)

- 家計動向関連では、前月に比べ 1.0 ポイント上昇した。
- 企業動向関連では、前月に比べ 2.2 ポイント低下した。
- 雇用関連では、前月と同水準であった。

(意見の主な内容)

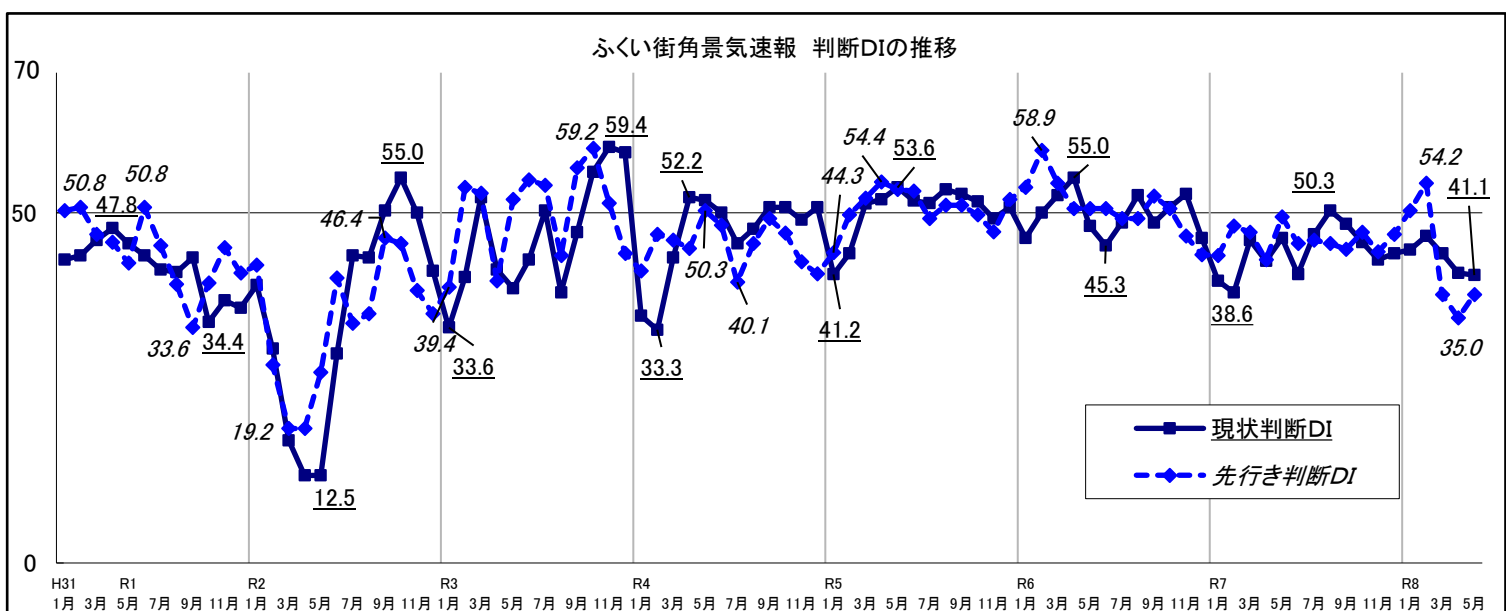
- 天候に恵まれ、GWの外出増もあり売上は増加しているが、物価高騰に伴う値上げが主因の売上増であるため、手放しには喜べない。(飲食関連)
- 中東情勢、物価高の影響により、仕入資材の制限や値上げ連絡が増えており、生産、販売に影響が出始めている。(繊維関連)
- 有効求人倍率は高水準で人手不足が継続し、初任給引き上げなどの賃上げ傾向も見られる。ただし、これらは人手不足に対応するための防衛的な側面が強く、景気回復とは言い切れない。(雇用関連)

■景気の先行き判断DI 38.3 (前月比 3.3)

- 家計動向関連では、前月に比べ 4.4 ポイント上昇した。
- 企業動向関連では、前月に比べ 2.3 ポイント上昇した。
- 雇用関連では、前月に比べ 2.2 ポイント上昇した。

(意見の主な内容)

- 夏季需要や「はぴコイン(地域通貨)」、プレミアム商品券などの催事による集客増加が期待される。(百貨店、SC等)
- 中東情勢による影響が未だ不透明であり、物流の目詰まりについては徐々に解消されていくとは思いますが、コスト増加の流れに変わりはない。(スーパー)
- 中東情勢次第の面が強いが、問題が解決した後も、経済への一定期間の影響が出ると予想される。受注が増加する見込みである。(建設・不動産関連)



<目次>

調査の概要	1 P
1. 景気の現状判断DI	2 P
2. 景気の先行き判断DI	2 P
3. 判断理由	(1) 景気の現状判断の理由 3 P
	(2) 景気の先行き判断の理由 4 P
4. 参考	(1) 調査対象の構成 5 P
	(2) 調査票 6 P

調査の概要

1. 調査の目的

県内景気の動向や各業種の状況をより迅速に把握し、景気判断の基礎資料とする。

2. 調査の実施概要

(1) 調査の範囲

県内を福井地区、坂井地区、奥越地区、丹南地区、嶺南地区の5地区に分け、各地区で働くさまざまな業種の方、100名を調査客体とする。

地域別・分野別の客体数

地区	対象地域	調査客体数			
		合計	家計動向	企業動向	雇用情勢
福井	福井市	48	26	17	5
坂井	坂井市、あわら市	11	7	3	1
奥越	大野市、勝山市	8	6	2	0
丹南	鯖江市、越前市とその周辺部	13	2	9	2
嶺南	敦賀市、小浜市とその周辺部	20	11	5	4
計		100	52	36	12

(2) 調査事項

- ① 3か月前と比べた景気の現状判断とその理由
- ② 2～3か月後の景気の先行き判断とその理由

(3) 調査期日等

毎月中旬～下旬に調査実施し、月末～翌月初旬に公表。

3. DI値の算出方法

5段階の判断にそれぞれ以下の点数を与え、これらに各判断の構成比(%)を乗じて、DI値を算出する。

評価	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
点数	1	0.75	0.5	0.25	0

4. DI値について

DI値が50の場合は横ばいを示し、0に近づくほど悪化傾向、100に近づくほど好転傾向であることを示す。

0 ← 50 → 100
 悪くなっている 変わらない 良くなっている

1. 景気の現状判断DI

○県全体の現状判断DI

(DI)	年 月	12	R8 1	2	3	4	5	(前月差)
合計		44.2	44.7	46.7	44.2	41.4	41.1	▲0.3
家計動向関連		43.2	44.6	42.0	46.2	40.8	41.8	+1.0
小売		42.9	48.4	43.5	45.7	40.0	39.3	▲0.7
飲食		45.8	43.8	33.3	41.7	45.8	50.0	+4.2
サービス		42.5	32.5	42.5	50.0	40.0	43.8	+3.8
企業動向関連		43.6	44.1	50.8	43.2	43.9	41.7	▲2.2
製造業		41.0	43.0	50.0	42.7	45.7	44.0	▲1.7
非製造業		50.0	47.2	52.8	44.4	40.0	34.4	▲5.6
雇用関連		50.0	47.5	55.0	38.6	36.4	36.4	+0.0

○回答別構成比

	年 月	12	R8 1	2	3	4	5	(前月差)
良くなっている		2.2%	2.2%	1.1%	1.1%	1.1%	1.1%	+0.0
やや良くなっている		12.2%	11.1%	13.3%	14.4%	13.3%	13.3%	+0.0
変わらない		51.1%	55.6%	60.0%	52.2%	44.4%	37.8%	▲6.7
やや悪くなっている		28.9%	25.6%	22.2%	24.4%	32.2%	44.4%	+12.2
悪くなっている		5.6%	5.6%	3.3%	7.8%	8.9%	3.3%	▲5.6

2. 景気の先行き判断DI

○県全体の先行き判断DI

(DI)	年 月	12	R8 1	2	3	4	5	(前月差)
合計		46.9	50.3	54.2	38.3	35.0	38.3	+3.3
家計動向関連		48.3	53.3	53.7	39.1	35.3	39.7	+4.4
小売		49.1	51.6	53.2	37.1	36.7	38.4	+1.7
飲食		45.8	62.5	54.2	37.5	29.2	37.5	+8.3
サービス		47.5	55.0	55.0	45.5	35.0	43.8	+8.8
企業動向関連		43.6	44.1	52.3	34.8	34.1	36.4	+2.3
製造業		40.0	42.0	51.0	36.5	37.0	38.0	+1.0
非製造業		52.5	50.0	55.6	30.6	27.5	31.3	+3.8
雇用関連		52.3	57.5	62.5	45.5	36.4	38.6	+2.2

○回答別構成比

	年 月	12	R8 1	2	3	4	5	(前月差)
良くなる		1.1%	2.2%	2.2%	0.0%	1.1%	1.1%	+0.0
やや良くなる		18.9%	18.9%	28.9%	16.7%	13.3%	14.4%	+1.1
変わらない		53.3%	58.9%	55.6%	33.3%	26.7%	28.9%	+2.2
やや悪くなる		20.0%	17.8%	10.0%	36.7%	42.2%	47.8%	+5.6
悪くなる		6.7%	2.2%	3.3%	13.3%	16.7%	7.8%	▲8.9

3. 判断理由

(1) 景気の現状判断の理由

現状	分野	地区	業種	理由
②やや良くなっている	家計動向	福井	観光関係	レジャーシーズンを迎えファミリー層の動きが活発化しており、イベント開催も集客に寄与している。一方で、ビジネス層の動きは鈍く、平日の稼働率は前年を下回っている。
		嶺南	飲食関連	天候に恵まれ、GWの外出増もあり売上は増加しているが、物価高騰に伴う値上げが主因の売上増であるため、手放しには喜べない。
	企業動向	福井	一般機械関連	建設機械部品製造業においては、輸出向けの北米や欧州など多くの地域で景気が回復しており、受注増加につながっている。
	雇用	嶺南	就職情報誌	北陸新幹線の延伸(開業)効果により、ビジネス客や観光客の流入(増加)といった好影響が出ていると思われる。
③変わらない	家計動向	福井	百貨店、SC等	身の回り品の値上げは一服したものの、価値のあるものに対する消費意欲は底堅い。
		福井	百貨店、SC等	当店独自の菓子やパン、ここでしか買えない全国の名菓などは人気で売上が伸びている。一方で、日常的な野菜や惣菜は低迷しており、顧客の価格に対する意識は非常にシビアである。
		嶺南	スーパー	売上は微増しているものの客数ではなく単価上昇によるもので、実質的な回復とは言えない。米などの価格も高止まりしており、家計の負担感是不変。
		福井	サービス業関連	特段の変化や変動が感じられないため。
		嶺南	観光関係	2月からの好調な波を維持しており、安定した景況感が続いている。
	企業動向	奥越	繊維関連	現在の受注状況を基にした判断。
		福井	一般機械関連	北米市場を中心として、商談・受注ともに引き続き好調を維持している。
		福井	鉄鋼関連	特段の変化(良化・悪化ともに)は感じられない。
		福井	IT関連	直近の売上実績や動向を基準とした判断。
	④やや悪くなっている	家計動向	嶺南	商店街
福井			百貨店、SC等	来店客数は一定数を維持しているが、物価上昇の影響から、買上点数や客単価の抑制傾向(慎重な購買姿勢)が見られる。
坂井			スーパー	中東情勢の緊迫化に伴う包装資材等の値上がり・コスト増が懸念される。さらなる物価上昇により、消費者の節約志向が一段と高まる恐れがある。
福井			飲食関連	物価高による材料費の高騰が継続。ゴールデンウィーク期間中の人出も低調で、その後も客足の減少傾向が続いている。
福井			観光関係	物価高の影響もあり、市場や顧客の動きがやや停滞(鈍化)している。
企業動向		坂井	繊維関連	中東情勢、物価高の影響により、仕入資材の制限や値上げ連絡が増えており、生産、販売に影響が出始めている。
		丹南	電気機械関連	中東情勢の悪化をはじめとするネガティブな要因を覆すような、好材料(ポジティブな要素)が見当たらない。
		嶺南	商社	中東情勢の先行き不透明感から、消費者の警戒感が強まっている。
		福井	銀行等金融関連	従来は原油高の影響が少なかった取引先(分野)においても、様々な形で影響が顕在化し始めている。
		福井	建設・不動産関連	顧客の動向を注視すると、不安定な世界情勢を受けて様子見(買い控え)の姿勢をとっている雰囲気伺える。
雇用		丹南	自治体労働政策担当課	市内の製造業や建設業を中心に企業訪問ヒアリングを実施。多くの企業が、仕入原価の高騰や材料不足など、中東情勢に伴う影響を強く受けていると回答。
	福井	ジョブカフェ担当者	有効求人倍率は高水準で人手不足が継続し、初任給引き上げなどの賃上げ傾向も見られる。ただし、これらは人手不足に対応するための防衛的な側面が強く、景気回復とは言い切れない。	
⑤悪くなっている	企業動向	福井	商社	石油製品の入荷において、発注(要求)通りの数量を調達できない状況が生じている。

(2) 景気の先行き判断の理由

現状	分野	地区	業種	理由
②やや良くなっている	家計動向	福井	一般小売店	新しい販売企画の投下により、集客数を伸ばす方針である。
		福井	百貨店、SC等	夏季需要や「はぴコイン(地域通貨)」、プレミアム商品券などの催事による集客増加が期待される。
		坂井	観光関係	夏休みのレジャー・観光需要の本格化や、新しい販売企画の投下による集客増への期待がある。
	企業動向	福井	一般機械関連	建設機械部品製造業においては、輸出向けの北米や欧州など多くの地域で景気が回復しており、受注が増加する見込みである。
		奥越	電気機械関連	受注数量が一段と増加傾向にあるため。
雇用	嶺南	就職情報誌	北陸新幹線の延伸開業効果が続いており、今後もビジネス客や観光客の流入が見込める。	
③変わらない	家計動向	福井	スーパー	中東情勢など、先行きの不透明感が続いているため。
		坂井	スーパー	中東情勢による影響が未だ不透明であり、物流の目詰まりについては徐々に解消されていくとは思いますが、コスト増加の流れに変わりはない。
		福井	コンビニエンスストア	世界情勢が落ち着いても低価格商品の値上がりは、一度上がれば下がらない。
		福井	観光関係	先行きの状況についても、現在と大きく変わっていない。
	企業動向	福井	鉄鋼関連	特段の変化(好転・悪化ともに)の要素はない。
		福井	IT関連	当面の受注見通しに特段の変わりがないため。
④やや悪くなっている	家計動向	奥越	一般小売店	いろいろあるが、一番は原油高により物価が高くなっていくこと。
		嶺南	一般小売店	さらなる物価上昇と、米国・イラン間の紛争による石油関連に伴う問題。
		福井	百貨店、SC等	中東情勢による物価高の影響、不安が続くと思われる。
		嶺南	スーパー	中東情勢の影響が大きく、多方面で更に物価上昇や製造そのものに支障をきたすと思う。
		坂井	観光物産関係	各種物価の高騰に伴い、消費者の生活防衛意識が高まっており、観光地などにおける「お土産の買い控え」が発生する懸念があるため。
		嶺南	飲食関連	今年もまた暑くなるとしたら、冷房費がさらにかかること、外出や外食することが減るのではないかと。また、野菜が高温で育たなくなるのではないかと不安が尽きない。
		坂井	観光関係	物価高騰に伴い旅行を控える動きや、旅行先を「安・近・短」にする傾向が見られる。
		福井	観光関係	物価高による影響は続く。さらに夏の酷暑による影響も懸念される。
	企業動向	坂井	繊維関連	物価高を価格へ即座に転嫁できず、当面は厳しい状況が続く見込み。
		丹南	眼鏡関連	現在の在庫状況は業種によって異なっているが、石油由来の原材料の高騰や、納期未定の製品が出てきていることは確かであり、影響が懸念される。
		福井	一般機械関連	受注は当面好調だが、石油由来部品の調達難による生産停滞リスクや、仕入・物流コスト上昇に伴う収益悪化の懸念があるため
		福井	化学・プラスチック関連	ナフサ不足が、より顕在化されると予想する。
		福井	銀行等金融関連	中東情勢悪化による原油高の影響に大小はあるものの、様々な業種で影響が出ている。今後もこの状況が続くとみられる。
⑤悪くなっている	企業動向	奥越	繊維関連	中東情勢が不安定で、原材料や燃料不足による製品供給の停滞が発生し、売上が減少する恐れがある。
		福井	建設・不動産関連	中東情勢次第の面が強いが、問題が解決した後も、経済への一定期間の影響が出ると予想される。

4. 参 考

(1) 調査対象の構成

調査対象		人数
家計動向関連		52
商店街、小売店		
	商店街関係者	5
	小売店経営者・従業員	7
百貨店、SC等		
	店長・売場主任	10
スーパー		
	店長・従業員	5
家電販売店		
	経営者・店長・従業員	2
コンビニエンスストア		
	店長・従業員	2
観光物産関係		
	売場責任者	3
飲食関連		
	レストラン等経営者・店長・スタッフ	4
	居酒屋等経営者・店長・スタッフ	2
その他サービス関連		
	サービス業経営者・従業員	4
観光関係		
	旅館関係者	2
	ビジネスホテル関係者	2
	観光・レジャー施設関係者	1
	旅行代理店経営者・従業員等	2
	タクシー運転手	1
企業動向関連		36
製造業経営者・従業員		
	繊維工業	4
	眼鏡工業	3
	一般機械工業	3
	電気機械工業	3
	化学・プラスチック工業	3
	鉄鋼業	2
	伝統工芸	2
	商社	2
	食料品製造業	2
	その他製造関連	2
非製造業経営者・従業員		
	IT関連	2
	金融機関	2
	建設・不動産	3
	運輸	3
雇用関連		12
	自治体労働政策担当課	2
	労働相談員	2
	学校就職担当者	3
	ジョブステーション担当者	2
	人材派遣会社	1
	就職情報誌編集者	2
計		100

4. 参 考

(2) 調査票

あなたの日々の仕事や仕事を通じて接するお客様の様子から分かる、あなたの身の回りの景気の状態についてご回答ください。

(企業・団体名および役職等)

(記入者氏名)

【質問1】

景気が上向きか下向きか、どちらの方向に向かっているかの質問です。 今月のあなたの身の回りの景気は、3か月前と比べて良くなっていると思いますか、悪くなっていると思いますか。 次の5つの中から、お選びください。
①良くなっている ②やや良くなっている ③変わらない ④やや悪くなっている ⑤悪くなっている

【質問2】

質問1でそのように回答した理由を教えてください。
自由回答（あなたの仕事に関してコメントをお願いします。）

【質問3】

将来の景気についての質問です。今後2～3か月先のあなたの身の回りの景気は、今月より良くなると思いますか、悪くなると思いますか。 次の5つの中から、お選びください。
①良くなる ②やや良くなる ③変わらない ④やや悪くなる ⑤悪くなる

【質問4】

質問3でそのように回答した理由を教えてください。
自由回答（あなたの仕事に関してコメントをお願いします。）

本書の内容についての質問は、下記にお問い合わせください。

福井市大手3丁目17-1

福井県 産業労働部 政策推進グループ

TEL 0776-20-0364 (ダイヤルイン)